あなたの暮らしのそばにいる
税理士会

ぜいりし
税理士による

租税教室

日本税理士会連合会

税 理 士

第１条　税理士の使命

税理士は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそつて、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命とする。

第２条　税理士の業務

一　税務代理

二　税務書類の作成

三　税務相談

※この三つの業務が税理士の独占業務です。税理士以外の人がやってはいけません。

Ⅰ. 税の意義・役割

Ⅱ. 財政の現状と
今後の課題

Ⅲ. 税から考える
社会の仕組み

Ⅰ．税の意義・役割

- 税はなぜ必要なのか？
- 税は誰のためのもの？

税はなぜ必要なのか？

税は誰のために？

私たちの健康や生活のために

教育や科学技術の発展のために

海外援助のために

災害復旧などのために

住民の安全・安心を守るために

公園や道路などの整備のために

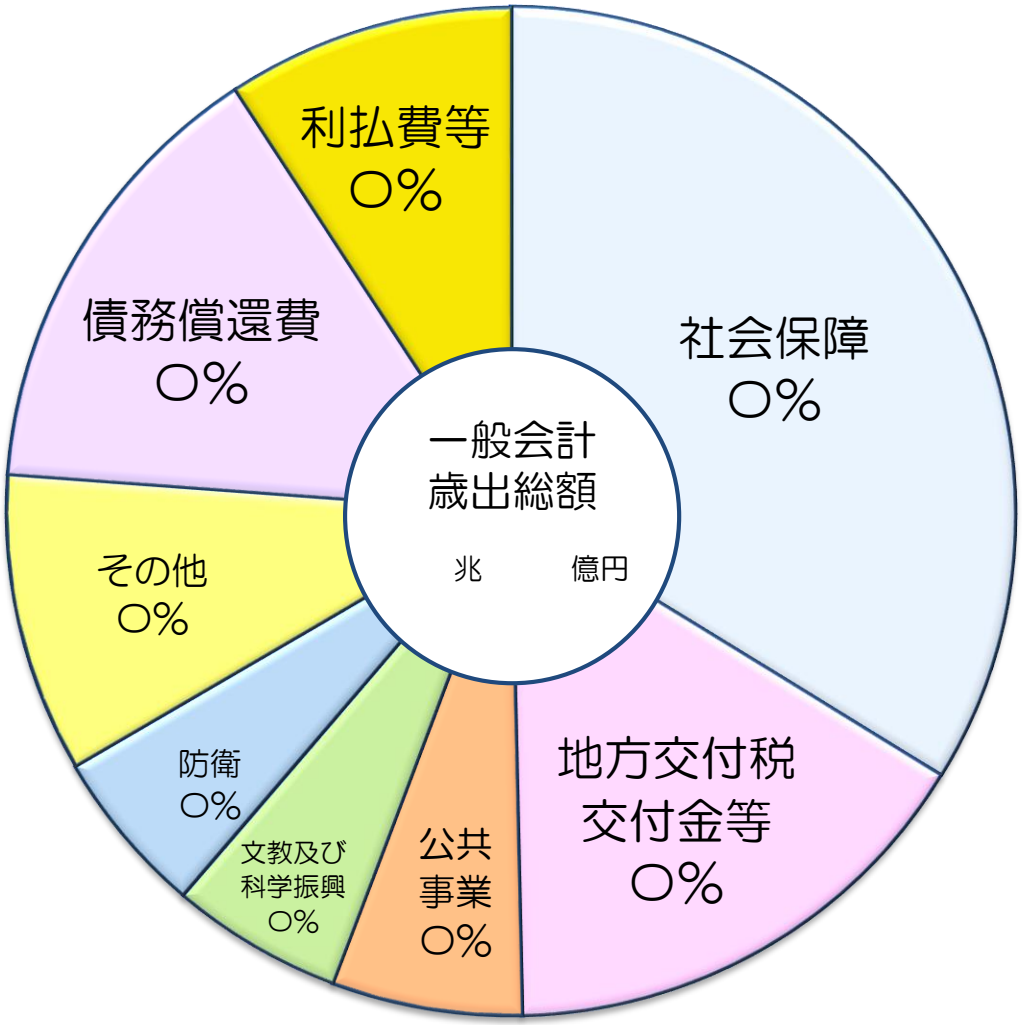
快適なくらしのために

出火・災害から守るために

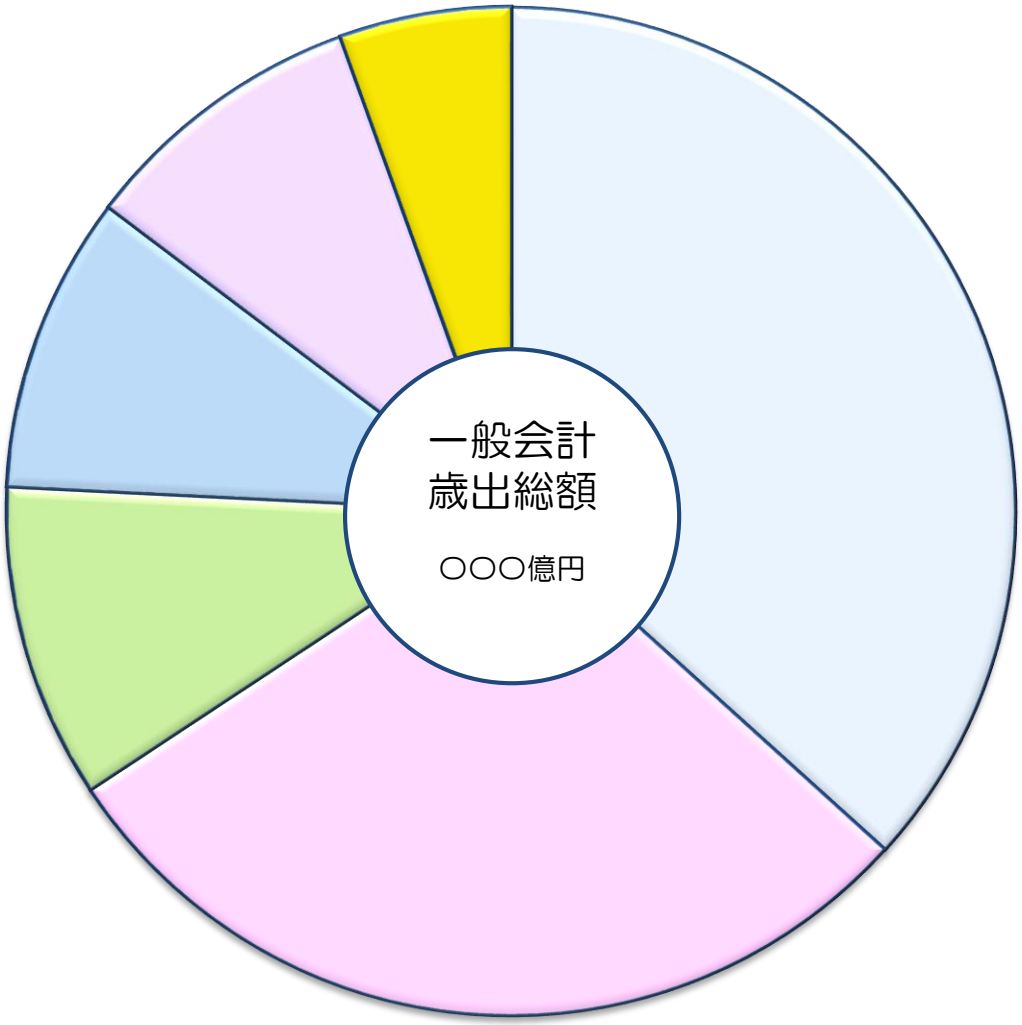
- 豊かな生活のために
- 健康に生きるために
- 文化的に暮らせるように
- 安心して暮らせるように

国民みんなのため

国の歳出　（○年度一般会計予算）



○○の歳出　（○年度一般会計予算）



公立学校の児童生徒１人あたりの年間公費負担額（全国平均）

- 小学生　約894,000円
- 中学生 約1,022,000円
- 高校生 約1,006,000円

出典：　東京都主税局「わたしたちの生活と税（平成30年度版）」

税の役割・機能

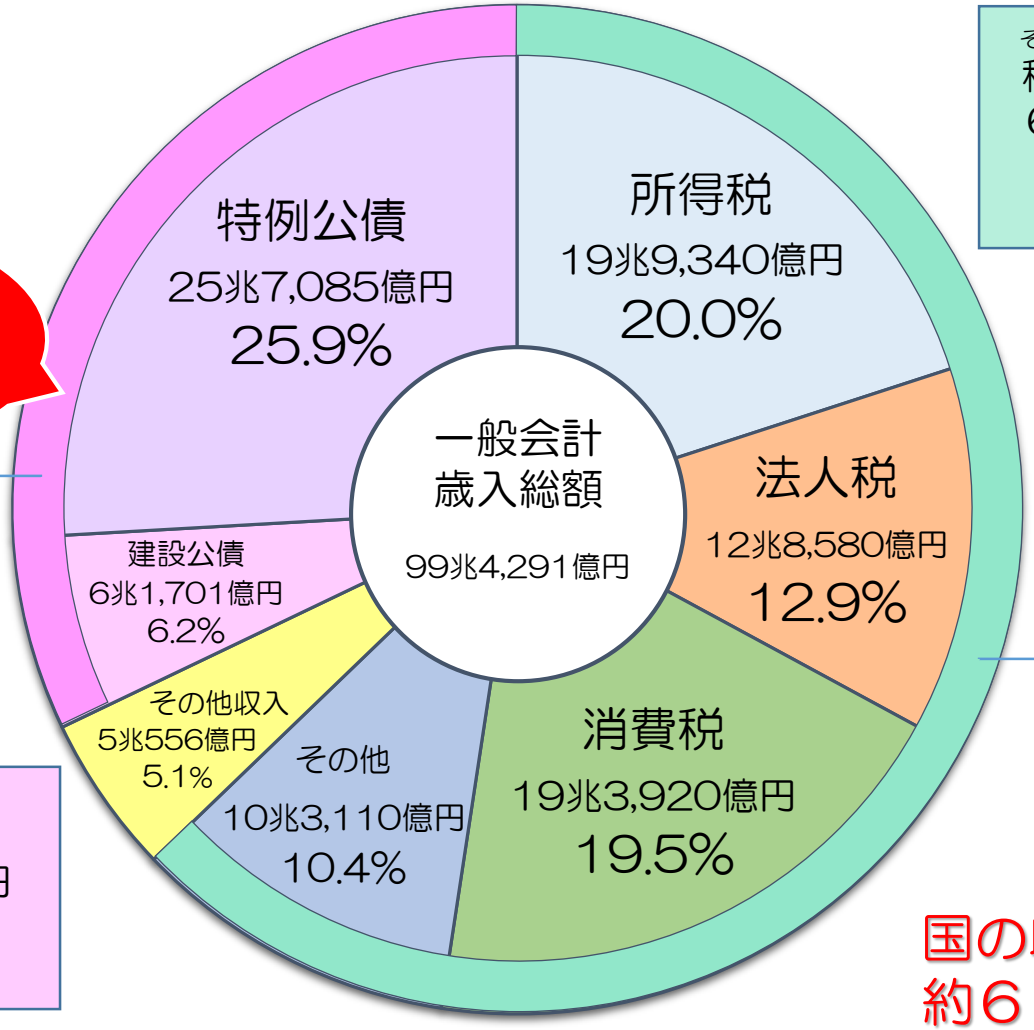
財源の調達

所得の再分配

景気調整

Ⅱ．財政の現状と今後の課題

国の歳入
（令和元年度一般会計予算）



そぜい　いんししゅうにゅう
租税及び印紙収入
62兆4,950億円

62.9%

借金
（将来世代への先送り）

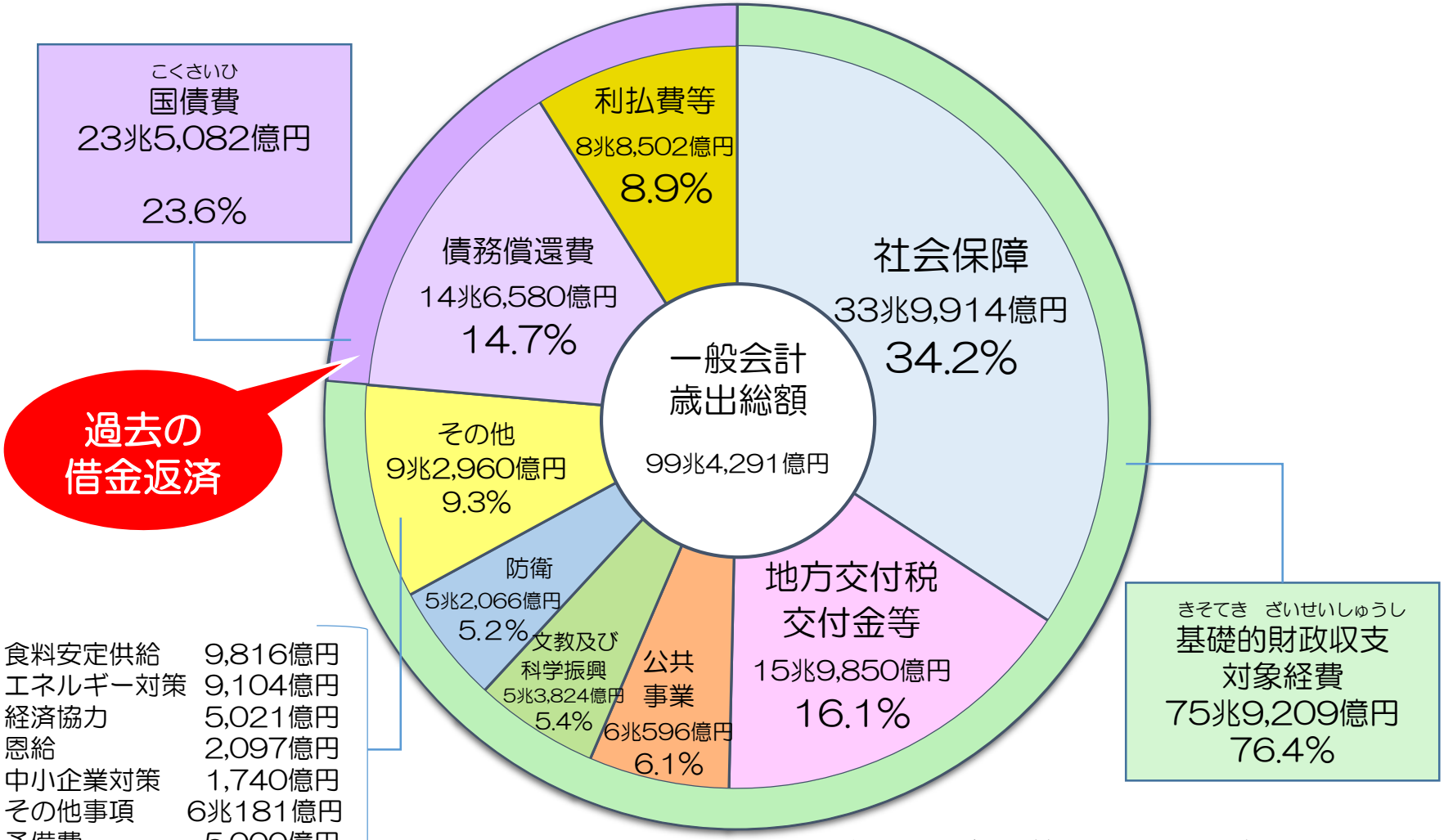
こうさいきん
公債金
31兆8,786億円

32.1%

国の収入の
約６２.９%が税金で
成り立っています

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

国の歳出
（令和元年度一般会計予算）



食料安定供給	9,816億円
エネルギー対策	9,104億円
経済協力	5,021億円
恩給	2,097億円
中小企業対策	1,740億円
その他事項	6兆181億円
予備費	5,000億円

「一般歳出」（＝「基礎的財政収支対象経費」－「地方交付税交付金等」）は59兆9,359億円（60.3%）

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

Ⅲ. 税から考える社会の仕組み

- 税の種類
- 課税の公平
- 民主主義の社会の仕組み

主な税の種類

国　　税

地 方 税

国税＆地方税

所 得 税

酒　　税

法人税

相続税

消費税

たばこ税

住民税

自動車税

事　業　税

固定資産税

税金を集める

〔ゲーム〕

7000

A

2500

B

500

C

私たち

国　会

税を通して民主主義を考える

税の使い道

税の集め方

みんなが出し合う

ルール（法律）

選　挙

関心・意見

公平に集められているか？
有効に使われているか？

国民主権

申告納税制度

日本国憲法

平和主義

基本的人権の尊重

租税法律主義

納税の義務

税は
公平に集め
有効に使う

- 主権者として税を考え、使い道に関心を持ち、責任を持とう。